

新年ご挨拶

一般社団法人 東京空調衛生工業会
会長 黒田 英彦

令和6年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

コロナ禍からの回復が進み、事業環境を巡っては、半導体工場など産業用施設や大都市圏での大型再開発等の需要が堅調に伸び、コロナ禍前を上回る勢いが見られます。

一方、国際情勢は緊迫度を増し、経済・安全保障面でも米中の対立が続く、資源調達やサプライチェーン等の混乱を招いています。建設業界においても資機材の価格高騰や納期遅延が収まっておらず、本年4月からは建設業における時間外労働の罰則付き上限規制が迫っています。

働き方改革は「待ったなし」となりました。各企業が取り組みを加速させ、更なる生産性向上や必要な担い手の確保など、将来の変化を見据えてしっかり備え、魅力ある職場として持続的に発展させていくことが必要です。

今年の干支は「甲（きのえ）辰（たつ）」です。甲は生命や物事の始まりを表します。また辰は振（ふるう）で、万物が成長し動きが盛んになる様子を表しており、文字どおり「芽が成長して勢いを増し、大きく旺盛に実る」良い年にしたいものです。

さて、国土交通省による2023年度建設投資の見通しは70兆3,200億円、前年度比2.2%増との発表がありました。建設投資の総額が70兆円を超えるのは1998年度以来で、旺盛な政府建設投資がけん引し全体を押し上げると見込まれています。地域別では建築の関東圏のシェアは全国の4割を占め、民間再開発事業や土地高度利用による都市更新事業など、活発な民間需要の喚起が見られ、我が国の全建設活動を後押ししているのが推察されます。

しかしながら、現場の状況に目をやると、若年入職者の減少や技術・技能者不足など、担い手は減少の一途を辿っており、労働者不足が深刻化しています。加えて、担い手を確保しても定着が難しい状況が続いています。働き方改革の調査結果からも、各社対応を急いでいるものの、依然として上限規制のクリア（4週8閉所の実現）というハードルが高く対応に苦慮していることが窺えます。

現場における週休2日制の実現、長時間労働の是正や適切な賃金水準の確保など、労働環境の改善を着実に進め、若者や女性にとっても働きやすく魅力的でやりがいのある職場を目指して取り組んでいかなければなりません。

これらを実現するためには、自助努力だけでは限界があり、元請けや下請けを問わず、企業及び関係機関・団体が連携して取り組む必要があります。なかでも工事発注者の

理解と協力を得ることが欠かせません。

当会としても渉外活動を通じて、国や東京都などに対し、公共工事の発注に際して、適正な工期の設定や予定価格の算定、計画的な発注等を強く要請しており、民間発注者への週休2日に対応した工期確保等の指導も求めています。

事業活動においては引き続き、広く一般の方に当業界の理解と役割、そして、関心を持っていただけるよう、小学生及びそのご家族を対象とした体験型イベントや、教育機関と連携した出前講座等を引き続き実施してまいります。

また、人材育成や技術力向上を図るための「新人研修及びフォローアップ研修」や「技能者レベルランク認定制度」、安全衛生向上を図るための「各種危険作業等の特別教育」など、その時々求められるニーズを取り入れながら活動を展開してまいります。

なお昨年、関東大震災から100年の節目を迎え、防災意識の更なる向上を図り、安全・安心な社会に寄与していくため、災害時を想定した伝達訓練に加え、ホームページを通じて、東京都からの災害関連情報や防災行動を会員各社へ発信する新たな取組も始めました。引き続き皆様方のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

次に、深刻化する地球環境問題への対応です。我が国は、2030年度までの目標として、温室効果ガスを2013年度比半減することを表明しており、エネルギー消費量の約3割を占める建築物分野での省エネ対策強化の取組が急務となっています。自然エネルギーの利用や省エネルギー化への更なる推進等、脱炭素社会の構築は空調衛生設備業界に課せられた社会的責任でもあります。地球温暖化防止と化石燃料等の資源制約からの脱却に向けて、長年培ってきた設備技術とノウハウを活用するとともに、更なる技術の開発と革新に努め、脱炭素社会づくりに貢献してまいります。

最後に、ガバナンス機能の確立とコンプライアンス機能の強化です。企業の社会的責任が問われ、その重要性が叫ばれる昨今、社会からの信頼に応えるための取組が不可欠であり、適正かつ公正な活動を継続して進める必要があります。当業界としても、社会的責任や役割を正しく理解し、各委員会や講習会等を通じて、法令遵守や社会的規範意識の向上に引き続き取り組んでまいります。

結びに、会員の皆様方のご多幸とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。